

# 競技注意事項

## 1、規則

- ① 競技は2021年度(公財)日本陸上競技連盟規則、及び本競技会開催要項、申し合わせ事項によって行う。
- ② 走高跳以外のフィールド種目については、3回の試技をもって終了とする。
- ③ 競技会は、無観客で行う。競技場内には標識票(リストバンド)を着装した競技者・競技役員以外の入場は認めない。  
ただし、所定の手続を経て配布された標識票(リストバンド)を着装した競技会・チーム関係者は、入場を許可する。

## 2、練習

- ① 9:15分まで競技場内での練習を、係・マーシャルの指示により許可する。  
以降は公園内競技場外周路、バックストレート、練習走路等を使用すること。
- ② ウォーミングアップは、公園内競技場周辺で危険防止に十分注意して行う。  
バックストレートは、100m・200m・ハードル競技の時に、支障のない限り認める。
- ③ フィールド競技の練習については、その競技開始前に競技役員の指示により競技場内で行う。  
特に投てき種目については安全に十分注意し、競技場外での投てき練習は一切禁止する。

## 3、競技場・競技使用シューズに関して

- ① 本競技場は、全天候型の競技場です。
- ② 競技用靴のスパイクピンは、9mm以下、11本以内を使用すること。(その他規則TR5.2～5.6、およびWA規則再改定を参照)  
また、先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するものであること。
- ③ **A:シューズに関する確認**  
全ての競技者は下記競技種目別に、競走・試技に使用シューズに関する確認を受けること。

<b>* 100m、200m、400m、100mH、110mH、走高跳、走幅跳、及び砲丸投種目の競技者</b>
---

第1次招集を受けるときに、使用するシューズを持参し、係から確認を受ける。
--------------------------------------

<b>* 800m、1500m、3000m、競技の競技者</b>
----------------------------------

第2次招集を受けるときに、使用するシューズの靴底厚さについて、係から確認を受ける。
---

規定外シューズの場合、出走を認めないので、規定外の可能性がある場合、代替のシューズを準備しておくこと。
---

規定以外のシューズを着用し、走った場合は失格扱いとする。
------------------------------

なお、審判長は必要に応じ、フィニッシュ後競技者レース使用シューズ靴底の厚さを再確認する場合がある。
---

### **B:WAの承認リストシューズについて**

原則承認リストのシューズであっても、カスタマイズされ(購入時のインソール(中敷き)を変更等)ている場合は、承認シューズ規定値の許容(シューズサイズによる厚さの増加)は認められず、25mm以下を適用します。

## 4、スタートルールについては、以下の通りとする。

- \* 不正スタートは、一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする(T16.7)。
- \* 規則TR16.5、について。  
音声や動作その他の方法(ピク付き動作を含む)で他の競技者を妨害した場合、最初は注意(グリーンカード)に留めるが、繰り返し行う場合は、警告(イエローカード)を与えることがある。  
最初の警告を受けた後、2回目以降の警告を受けた場合は、その種目は失格とする。

## 5、競技場入退場・招集

- ① 招集は2回行う。各招集場所は次の通りとする。  
第1次招集所を、競技場入り口正門を入れてすぐ右に設置する。  
第2次招集のトラック競走競技については、各競技スタート地点後方を招集場所とする。  
第2次招集のフィールド競技については、各競技の試技競技場所とする

- ② 第1次招集は、全ての競技者が自身のアスリートビブス(ナンバーカード)を係に提示し、確認を受ける。

アスリートビブス(ナンバーカード)確認完了後、つぎの確認・配布を行う。

\* 100m、200m、400m、100mH、110mH、走高跳、走幅跳、及び砲丸投種目の競技者は、シューズ確認を行う。

砲丸投種目については、靴底厚さを確認し、規定以内の時には、「靴底厚さ規定内確認標識」の貼付を行う。

\* 全てのトラック競技者には確認完了後、『写真判定用腰ナンバーカード』を配付する。

この『写真判定用腰ナンバーカード』は競技終了後返却しないで、持ち帰り自身で処分してください。

第1次招集開始時刻及び完了時刻は、プログラム記載競技開始時刻を基準とし、下記の通りとする。

第1次招集 開始	第1次招集 完了
競技開始 2時間前 開始	競技開始 1時間前 完了

- ③ 第2次招集場所での集合開始は、第2次招集開始時刻の3分前を目安とする。

\* トラック競技の第2次招集は、競技者本人がスタート位置後方に集合し、競技者係から点呼を受ける。

競技者の、『アスリートビブス』着装と、『写真判定用腰ナンバーカード』を右腰後部に着装してあること。

\* 800m、1500m、3000m、競技の競技者については、靴底厚さ規定内確認を受けること。

各確認完了競技者は競技者係の誘導・指示により、スタート位置に移動する。

なお、荷物は持参した用具袋にまとめ、係りから指示された場所に置き、スタート待機する。

第2次招集 開始	第2次招集 完了
競技開始 20分前 開始	競技開始 10分前 完了

\* フィールド競技は試技場所において、係りのアスリートビブス及び試技順確認を受けた後、係りの指示に従い練習・試技する。

第2次招集開始	第2次招集完了
競技開始 45分前 開始	競技開始 30分前 完了

- ④ 各招集完了時刻に遅れた競技者は、棄権をするものとし処理する。

スタート・試技場所に、第1次招集所の確認がなく集合した場合、第2次招集を受けることができない。

- ⑤ 競技場の入退場については、競技者係及びマーシャルの指示に従う。

・ 競技場内での発走地点までの移動進行方向については、原則8レーン外側をトラック走行方向とする。

・ 競技者の手荷物は、スタート・試技前に係に指示された場所にコンパクトにまとめ置き、整理整頓に努める事。

・ スタート・試技場所への入退場について、本部前の通過・フィールドの横断は厳に慎むこと。

・ フィニッシュ・試技完了後・退場の際は、特に手指消毒・手洗い・洗顔等感染防止の手順を踏むこと。

## 6、アスリートビブス(ナンバーカード)および腰ナンバーカード

- ① アスリートビブス(ナンバーカード)は、胸(腹部ではない)と背にしわにならないよう伸ばし四隅を固定し、確実に着装する。

ただし、跳躍競技は胸または背だけでよい。

- ② 『写真判定用腰ナンバーカード』は右腰後部に着装し、競技終了後、返却しないで競技者は持ち帰って下さい。

競技者はユニフォームの裾が腰ナンバーカードを隠さないように、上ユニフォームの着用をすること。

なお、着服用安全ピンは配付しないので、各自で準備すること

- ③ ナンバーカードは千葉県小中学校体育連盟陸上競技専門部指定のものを使用する。

7、800m及び3000m競技のスタート方法・位置について

- ① 共通男子・女子800m競技のスタート方法はセパレートスタートとする。
- ② 共通男子3000m競技のスタート方法は、グループスタートとする。

スタート位置は、各組の発走する競技者の2/3までが内側スタート、残りの1/3が外側スタートとなる。  
 なお、スタート10m以内には内側・外側を分離する緑石は設置しない。

8、オープンレーンについて

共通男・女800m競技は、ブレイクラインの交差する各ライン上に黄色の角柱(もしくは代用緑石)を置く。

9、走高跳のバーの上げ方

走高跳におけるバーの上げ方は次の通りとする。

競技種目	練習	1	2	3	4	5	6	7	備考
共通男子走高跳	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	以後の高さは、 審判長の指示による。
共通女子走高跳	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40			

天候、その他諸事情・条件によって変更する場合もある。

記録会ではあるが、原則最初の高さの試技が成功しない場合、『記録なし』とし、その救済措置は実施しない。

10、記録

- ① この競技会の記録については、(公財)日本陸上競技連盟への公認申請を行います。  
 また、今回の記録は千葉県中学校通信陸上競技大会・千葉県中学校総合体育大会陸上競技大会・  
 千葉県中学校新人陸上競技大会の参加選考記録として適用されます。
- ②トラック種目の競走競技はすべてのレースにおいて、写真判定(電気計時)を採用する。
- ③ 写真判定計時は、同一記録の場合、0.001秒での着差(優劣)判定を行う。(TR19.23.1)
- ④ 競技記録判定が確定次第逐次、記録結果放送を行う。また後日決勝・記録一覧表をホームページに掲載する。
- ⑤ 全種目とも、総合1位～8位(Top8、入賞者)には、記録証を授与します。

11、競技からの除外

競技運営上、必要と認めた場合、審判長は特にレース圏外の競技者のレースを中止させることがある。

12、抗議

日本陸上競技連盟、競技規則規則 TR8. による。(記録発表後30分以内)

13、その他

- ① プログラム記載表記の訂正は、9:00までに総務へ申し出ること。  
 以後の訂正については、主催者側の誤編成・誤記等以外は受け付けない。
- ② 控所、トイレ等の競技場内外及び付帯設備の整理・整頓に努める。  
 (各学校の顧問の先生方へ。ゴミ・空缶等の持ち帰り・帰宅途中での不法投棄をしない指導をよろしく願いいたします。)
- ③ 各自の持ち物については自分自身で管理し、盗難には十分注意すること。主催者で責任は負わない。
- ④ グラウンドには、競技者・競技役員以外は入ってはいけない。  
 競技者は、フィールドを横断して試技場所への往復、本部前通行は厳に慎むこと。(スタンドを通過して競技場所に移動する)
- ⑤ 競技中に発生した事故などについては、応急処置を主催者で行うが、以後の責任は負わない。  
 競技参加者は、スポーツ傷害保険等に加入していることが望ましい。
- ⑥ 陸上競技場以外の松戸運動公園内施設は、借用していないので立ち入らないこと。

14、感染症防止対策については、別記松戸市陸協『競技会開催における「新型コロナウイルス感染防止対策」他について』に準じ実施する。